

新発田市租税教育推進協議会長賞

税金について

新発田市立 紫雲寺中学校 3年 服 部 叶 翔 さん

私は、税金のことについて学ぶまで、税金は邪魔で払いたくない、いらないものだと思っていた。しかし、税金のことについて学んだ後は、税金はとても大切で、税金のおかげで幸せに暮らしているのだとわかりました。

数ある税金の中でも自分が深く税金と関わっているのは学校だと思いました。

私たちが通っている小学校、中学校の義務教育の学費は税金によって負担されているというのを知りました。そして、教科書などの勉強道具も税金によって無料で支給されているのを知りました。そこで私は日本に住んでいる人が払っている税金で中学校卒業までの9年間教育を受けられるというのは本当に幸せなことに気付きました。だから私は、今まで大切にしてきた教科書や学校などを今までよりもっと大切にして勉強していきたいと思いました。

もう一つ、税金と自分が深く関わっているのは地域のグラウンドだと思いました。私は最近まで地域の野球のクラブチームに所属していました。そこで遠征に行って試合をしたり練習したりするときにグラウンドを利用するのですが、たまにグラウンドにあるベースがボロボロになっていることがあります。野球をするときベースがボロボロだと、怪我をしてしまうことがあります。私は新しいベースにしてほしいと思っていましたが、最近そのベースは本来市の税金によって置かれているのですが、市の税金が足りず新しいベースにしようと思ってもできないことを知りました。そのことを知って私は税金が足りなくなってしまう市町村がなくなって、地域の人々が楽しく安全にスポーツができるようになってほしいと思いました。そこで私は、その未来に近づけるように、日本に住んでいる一人として、自分が払わなければいけない税金はしっかり払っていきたいと思いました。

このように、税金のことについて学ぶ前は税金を払いたくないと思っていたが、今は日本がいい国になれるように税金を払っていきたいと思いました。